

公益財団法人成長科学協会 第28回公開シンポジウム
「自閉症とその周辺～子どものコミュニケーションの今～」

自閉症周辺児のコミュニケーションの 発達と特徴

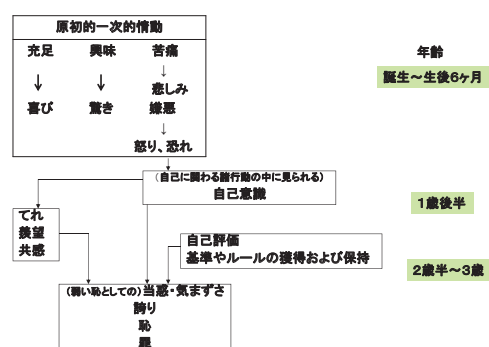
於UDXシアター
2015年6月13日
白百合女子大学 五十嵐一枝

乳幼児期の感情の発達

感 情

- 言語獲得以前
: 他者とのコミュニケーションにおいて重要な役割を持つ
- 言語獲得後
: 言葉の背景にある他者の気持ちや意図の理解に関わる

生後3年間における感情の発達 (Lewis, 1993, 2000, 遠藤2002より)



- 発達に見合っているか
- 状況にふさわしいか

乳幼児期の対人行動の発達

愛 着

- 特定の対象に対する特定の情緒的結びつき
人⇒母親
- 愛着行動
ex. 生後6～7か月児
母親への接近、接触、後追い、
発声、泣きなど

共同注意行動

- 他者と同じ対象に注意を向ける
自分ー対象ー相手
三項関係において他者と注意を共有
- ↓
- 他者の操作の模倣
 - 他者と意図を共有する

- 30～36か月
: 自分の話題に関心を示す
自分に注意を向けようとする
おとなが見ていないところでいたずらをする

共同遊び(意図の理解)

- 6か月: あやされると声を出して喜ぶ
人に笑いかけ声を出して抱いてほしがり、遊びに誘う
- 12か月: 人の呼びかけに笑ったり体を動かしたりしてともに遊びを楽しむ
ほめられた動作を繰り返し関心を引く

- 18か月
: 相手を意識してイナイナイバーを楽しむ
- 24か月: 相手の要求を理解して行動する
- 30～36か月
: 他者とふり遊びをする
相手の表情や様子にあった行動をする
人に合わせて話題を選ぶ
周囲の状況にあわせて静かにできる

他者理解の発達

- 他者の欲求や意図などの理解ができるようになること
↓
自分と他者では違った考えがある
他者の考えを推測できる
他者の考えを理解できる
他者に合わせて自分の行動を調整できる

- 3～4歳: 他者の欲求や意図の理解
他者の誤った考えの推測
ex. サリー・アン課題
スマーティーズ課題
(心の理論)
- 自己と他者の心の理解: 5歳頃までに発達してくる

他者理解の不器用さがもたらす問題

- 些細なことからけんかや衝突になる
- 友人関係が築きにくい
- 誤解され、社会的に非難されることがある
- 関係認識の混乱
- 自己認識の混乱

対人関係の不器用さ

- 人への関心があるが伝わるように表現できない
- 表情や声の調子などの読取りが苦手
- 人と相互に関わることが苦手
- 人との距離が測れない

ASD周辺児のコミュニケーション

ASD児のコミュニケーション:乳児期

- 泣かない、一人でも機嫌が良い、母親を追わない、
- または、不機嫌で泣いてばかりいる、あやしても泣き止まない、寝つきが悪い、すぐ目覚めてしまう

⇒育てやすい、または育てにくい赤ちゃん

ASD児のコミュニケーション :幼児期～学童期初期

- コミュニケーションとりすぎ？
⇒人なつこすぎる、一方的おしゃべり、興味・関心の押しつけ、
- コミュニケーションがとりにくい
⇒人と関わることを避ける、双方向の反応がない、言葉の表出が遅く応答が少ない、興味関心のある事に没頭しマイペース(自分勝手な子?)

ASD児のコミュニケーション :学童期後期

- 言葉の理解と表現の問題の顕在化
⇒他者の言葉を誤解しやすく、自分の気持ちや考えも共通理解可能な言語や行動で表現しにくい、状況と言動のズレ
- 感情理解と表現の問題
⇒他者の表情や気持ちがわからない、気持ちを読み違える、自分の気持ちとあった表情や姿勢がとれない、
⇒コミュニケーション場面での緊張が抜けない、会話や集団活動に消極的、二次的問題(チック、強迫行動や観念、自己否定、他者攻撃他)

ASD児のコミュニケーション: 青年期以降

- 現実生活でのコミュニケーションに関連した問題の深刻化
⇒ASDのコミュニケーション上の特徴が、高等教育の場、職場、家庭、地域社会などにおいて問題となりやすい
- 孤立、いさかい、うつ状態
⇒退学、離職、離婚など

ASD周辺児の治療的教育

- 「成長と共に社会で求められている言動を学ぶが、それは自然に身につけられるものではなく、知的な分析や知識の習得に基づいている」

(Attwood 1999)

- 「PDDの病的過程は幼児期前期までに終了し、以後はそれが修復される」
- 「早期からの療育によって多くのPDDの経過が変化する」

(仲根 2006)

- 「他者理解に関連する3つの能力(心の理論、共同注意、愛着)の形成は言語を中心とした認知発達によって補償される」
- 「言語を中心とした認知発達に依拠した支援の重要性」

(別府 2006)

自閉症と発達の視点

- ・モジュール説: 発達には遺伝子発現によって決定されており環境の影響を受けない。自閉症の障害は、遺伝子の欠損による能力のモジュール的欠損(まとまりをもった機能の欠損)、発達の遅れ。
⇒欠損を補う代替的能力を獲得する様な介入
- ・熟達化説: 発達の欠損や遅れではなく、何らかの理由である種の学習が定型発達児より遅れている、不足している。
⇒学習の機会と学習量を増やすことで、定型発達児に近づく
- ・相互作用説: 生得的なバイアス(偏り)の違い、または脳の構造の違い、あるいはその二つの相互作用により、脳機能の専門化のなされ方が定型発達児と異なる。
⇒自閉症児の脳が学習しやすい方法で、社会適応に必要な能力を獲得させる

(千住 2012)

ASD周辺児は

- ・言語は有しているものの、言語理解や言語表現は独特で、対人関係に支障をもたらす
- ・他者の視点に立てず、自分の行動を客観的に特徴づけることが適切にできない
- ・社会的文脈を有した場面の理解において、部分的な理解はできるが、言語や場と人との関係から総合的に場面を理解することが困難



社会的場面の認知と言語表現に注目

対応の実際

- ・状況と感情の関連性の理解
- ・適切な感情表現の受容
- ・不適切な感情表現の理解と修正
- ・おとなを交えた双方向的な感情のやり取りの繰り返し



言葉による説明、解説、関連付け

個別治療教育

- ・認知、言語、コミュニケーション行動の獲得
- ・教科学習指導(苦手教科の補充)

グループ治療教育

- ・集団での指示理解と意思表出
- ・語彙獲得と言語コミュニケーション
- ・社会的コミュニケーションのスキル(発表、質疑応答など)

親教育面接と心理カウンセリング
本人の心理カウンセリング

事例における発達経過

A(男児) 19歳

学習障害(LD) 自閉症スペクトラム障害(ASD)

- ・正常分娩、10mウィルス性脳脊髄膜炎罹患
- ・定頻3m 這い這い9m 始歩14m
始語(モモ:桃)18m 二語文5y0m
人見知りあり
- ・注意の集中持続困難
- ・言語表出の遅れ、聞き取りの困難、パズルと一人遊びを好み集団に入らない
視覚的認知能力高く、3歳でひらがな数字をおぼえ文字を書き写す

経過

- ・2歳8か月より個別治療教育開始 → 現在
認知、言語、コミュニケーション、学習指導
- ・3歳幼稚園入園
4歳5か月からグループ治療教育開始 → 現在
集団適応、指示理解と意思表出、語彙獲得と言語コミュニケーション、社会的コミュニケーションのスキル、発表
- ・2歳から親教育面接と心理カウンセリング
→ 現在

- ・6歳時の知能指数はFIQ79であるが、小学校は公立普通級で学ぶ。中学校は受験して私立大学付属中学・高校に進み、進学コースに在籍し理科系の大学を目指す。同年齢の生徒との言語によるコミュニケーションができるようになり、友人と外で遊ぶようになった。
- ・現在、私立大学経済学部2年生、税理士をめざす。コンビニで定期的にアルバイトを始め、礼儀正しさ、几帳面さ、正確な仕事を評価されている。漢字検定2級合格。

Aくん IQ変化

	VIQ	PIQ	FIQ
6y3m	71	92	79
8y6m	72	96	82
10y7m	84	93	87
11y10m	90	96	92
14y7m	84	118	100
15y11m	87	107	96
18y11m	89	125	104

B(女児)19歳 自閉症スペクトラム障害(ASD)

- ・ 正常分娩、特記すべき既往歴なし
- ・ 定顎?m 這い這い6~7m
始歩12m 始語(ネンネ、バナナ)12m
二語文遅れたが? 人見知り(一)
- ・ 多動、こだわり、異常行動、感覚過敏有
- ・ 微細粗大運動とも不器用

経過

- ・ 3歳未満より個別 & グループ治療教育開始 → 現在
個別学習指導、集団におけるコミュニケーション指導と音楽治療教育
集団適応、指示理解と意思表出、語彙獲得と言語コミュニケーション、社会的コミュニケーションのスキル、発表
- ・ 3歳未満から親教育面接 → 現在
- ・ 15歳より本人心理面接→現在

- ・ 7歳時の知能指数はFIQ65であるが、小学校は公立普通級で学び、中学校は受験して私立中学・高校に進む、成績上クラス。
- ・ 現在、私立大学理系2年生。1年次は大学の履修や授業環境に慣れず、特別支援の対象を提案されたが本人が拒否、2年次は順調に履修。科目によっては具体的説明や解説などのサポートを必要とするものの、得意科目は成績上位で、単位は落とさない。

- ・ コミュニケーションの不器用さは持続しており、人前での発言は緊張が強く、思ったことが言えない。慣れている人や、長い間付き合い信頼している人とは軽口が言えたり、反論や議論ができる。
- ・ 知らないことや初めての出来事には過剰に緊張する。自分の緊張を他者が分かるように説明できず、しばしば知的遅れが原因ではないかと誤解される。

Bさん IQの変化

	VIQ	PIQ	FIQ
7y10m	70	66	65
11y7m	79	71	72
12y10m	76	85	78
15y7m	90	79	83
16y10m	108	106	107

C(女児)20歳 自閉症スペクトラム障害(ASD)

- ・ 正常分娩、特記すべき既往歴なし
- ・ 定顎3m 座位12m 這い這い(一)
始歩17m 始語(パパ)1y6m 二語文
2y9m 三語文3y11m 人見知り(一)
- ・ 多動衝動性高く、注意の集中持続困難、癖、こだわり、異常行動、感覚過敏あり、日本語表現は下手だが、英語の歌唱はネイティブクラス。
- ・ 微細粗大運動とも不器用

経過

- ・ 3歳幼稚園入園
グループ治療教育開始
集団適応、指示理解と意思表出、語彙獲得と言語コミュニケーション、社会的コミュニケーションのスキル、発表 → 現在
- ・ 2歳8か月より個別治療教育開始 → 現在
認知、言語、コミュニケーション、学習指導
- ・ 3歳より親教育面接と心理カウンセリング、10歳より本人心理面接→現在

- ・小学校は公立普通級、途中から情緒障害学級に移行するが、その後本人の希望で高学年は再び普通級に在籍、中学校は公立普通級を卒業。対人関係の苦手さ、独特さを早くから自覚し、障害について聞いてくる。
- ・県立高校に合格、部活動、生徒会活動など、本人ペースと周囲の要請を適度にミックスさせながら行ってきた。得意不得意があるが全体的には成績は上位。写真部の県内コンクールで入賞。
- ・現在、私立大学文化学科(東洋文化)3年に在籍し、図書館司書を目指す。

- ・大学入学後から一人暮らし開始、金銭感覚良好、食事内容や栄養にも配慮して規則正しい生活をしている。授業は休まず、単位もほとんど落としていない。
- ・自ら選択して転居時の荷物整理のアルバイトをする。礼儀正しさ、丁寧、計画性、整理整頓の適切さを評価された。
- ・2年次に大学の夏期短期留学に1か月間参加、同行した学生とルームシェアが出来た。

Cさん IQの変化

	VIQ	PIQ	FIQ
5y5m			66
6y2m	67	95	77
7y9m	80	94	85
11y2m	87	96	90
12y6m	89	108	98
20y4m	80	95	83

- ・自閉症児の社会的認知・社会脳の障害は発達早期から著しくみられるわけではなく、発達に伴って徐々に現れていくものである。

- ・社会脳が社会的経験に応じて受動的に発達するわけではなく、個々の環境に対して能動的に働きかけながら、適応的な機能を獲得していくという発達の特徴が示唆されている。

(2015 千住)

社会脳: 他者との関わりに携わる脳機能

コミュニケーション治療教育の実際

課題: 空欄に書く(1)

いえ の おはなし
なまえ _____

①いえで する すきなことは なにですか?
こたえ: わたしは いえで () をします。

②いえで する いちばん すきなことは なにですか?
こたえ: いえでは () を することが いちばん すきです。

課題: 空欄に書く(2)

③どうして それが すきな の ですか?
こたえ: ()

④いえでは なにか おてつだいを して いますか?
こたえ: ()
れい: おさらをかたづけること、ゴミをすてること、など

⑤おとうさんは いえでは どのようなことを していますか?
こたえ: ()

⑥おかあさんは いえでは どのようなことを していますか?
こたえ: ()

課題: 話し合い

指導者がテーマを設定し、数回にわたって話し合う。

発言や内容を指導者が文章にまとめる

全員で作成(ソーシャルストーリーの完成)

(例)

「親切な友だち、親切でない友だち」

「怒りの対処法」

「人に言ってよいこと、言わないほうが良いこと」

課題:文章構成と話し合い

導入文:もうすぐ3月です。

- 18:3月は女の子の行事のひなまつりやに年生の卒業式、修業式があります。
- 2A:ひなまつりといったら、ひな人形をかざります。
- 3D:この前学校でどれかひな人形をこわしました。
- 4C:ひどすぎますね。
- 5B:他にひなまつりといえはひなあられを食べますが、最近ではデコやわたあめを食べる人も増えているようです。
- 6A:でもやっぱりあられのほうが多いと思います。
- 7D:なぜか食べ物の話題になっていますね。
- 8C:ひなまつりの話題からそれていますね。
- [感想]
- B:この作文はいいと思うんです。でも、私がもしも8番だったら、くほにも読解とかがありますね>とかをつなげます。
- A:「デコやわたあめ」っていうのはわからないので、くひなあられを食べます>でしくくっていいと思います。
- D:ひなあられの話題を續けたかったですか?
- C:もしも読解にもしもをしたら、8番でお願いなのに、9番につながらりそう。
- B:私が家でわかりにくいを出して、もらったので、もっとわかりやすいのをだせばよかったと思っていますだけです。
- A:「食べ物の話題になっていますね」っていうのも悪くない、ひなあられの話題だとまだまだ読んでいるから、良かった。
- D:6から前の食べ物の話題にそれしても良かった。
- C:どうやって前の食べ物の話題にそれしたらいいの?
- D:ひなまつりから、そろそろだよ
- A:7番でくもらしうし>とか他の食べ物の話題にできたかも、好きな食べ物のなしじや、ひなまつりにつながらない。
- D:6から、みなさんどんな食べ物が好きですか?とかひなまつりの話題からそればいいい。
- A:でも好きな食べ物の話題と、つながらないから、ひなまつりの話題に。
- B:私は、これと、ずんずん続けていくと、8番から読えると、色々な文章がつながってしまっていて無理だと感じます。
- D:無理だ、ビッパ

文章構成課題の一例

課題:作文リレー

ルール

1. みんなでひとつの作文をつくる。
2. 前のヒトの文に続く内容を考える。
3. テーマを意識してつくる。

作文リレー

「今日はとてもいい天気です」

O:明日はくもりです。

Y:明後日はときどき雨です。→6月は雨です。

T:今日、デパートに行きました。

K:何を買ったんですか?

O:帰りに雨がふりました。

Y:雨が降るとぬれちゃうのです。

T:傘を買いました。

K:傘はビニール傘ですか?

O:家に帰りました。

Y:ぬれちゃったら、傘を持っていけばいいのです。

T:デパートで買ったゲームをします。

K:夜中まで楽しくやりました。

課題:感情表現と表情画 (音楽聴取と感想から)

事例 A(LD,ASD)

事例 B(ASD)

事例 D(ADHD)



ぼくは、2曲目の方で、明るくて、暗い曲でよかったと思います。(転調を表現)

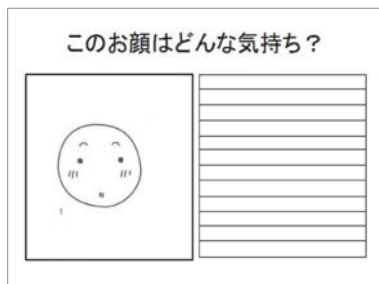


私は、2曲目で、やさしくて、美しい感じだと思いました。



ぼくは、2曲目が、なんかとてもふしぎで、何かに吸い込まれる感じがしたからです。

課題:気持ちの表現と理解 (表情マークから)



53

- 「うん、満足だ」はどのお顔?
- それはどうして?

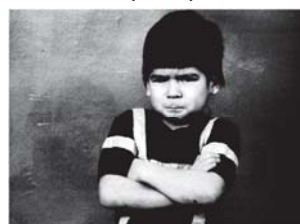


54

課題:気持ちの理解

セカンドステップ課題から

この子の名前は、トニーちゃんです。
(怒り)



- 設問1: この子はどんな気持ちでしょうか。
自分が感じたままを書いて下さい。
- 設問2: ○○ちゃんのお持ちはどこに表れていますか。
- 設問3: どんな時にあなたは、こんな表情をする
でしょうか。

自閉症は増えているか？： コミュニケーションをめぐる どう理解すれば良いのか

国立精神・神経医療研究センター
精神保健研究所児童・思春期精神保健研究部
神尾陽子

日本の発達障害児の実態

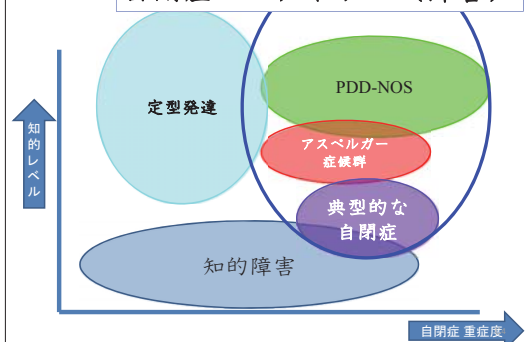


自閉症から自閉症スペクトラムへ

有病率の増加 = 自閉症は増えているか？

- いつの調査か：最近の調査結果は ほぼ1%超
- どの診断基準を用いたか：ICD-10, DSM-IVで拡大
- 対象の年齢：子ども > おとな
- どの地域での調査か：日本 > 米国

自閉症スペクトラム（障害）



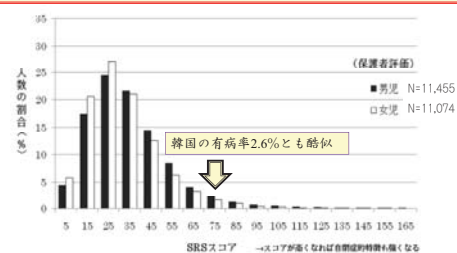
自閉症スペクトラム障害（ASD） 中核症状 DSM-5 (2013)

社会的コミュニケーションおよび
対人相互交流の障害

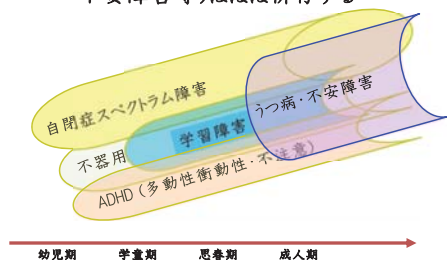
行動、興味、活動の限局的、反復的な様式
・
感覚過敏/鈍麻

全国の通常学級の児童生徒 にみられる自閉症的特性

診断の有無に関係なく、自閉症的特性の程度はなめらかに連続する



発達障害同士、発達障害や精神疾患(うつ病、 不安障害等)はほぼ併存する



発症要因

- ▶ 「なりやすさ」に関与する多様な遺伝要因と環境要因が超密接に相互に影響しあって 発症リスクを高める。
- ▶ 成人期発症精神疾患(統合失調症、うつ病、双極性障害)ともリスクを共有する。

自閉症スペクトラム障害 (ASD) 中核症状
DSM-5 (2013)

社会的コミュニケーションおよび
対人相互交流の障害

行動、興味、活動の限局的、反復的な様式
・
感覚過敏/鈍麻

レオ・カナーの最初の記述 1943

- ▶ 反響言語 (エコリア)
- ▶ 代名詞転倒
- ▶ 字義通り性
- ▶ 比喩の失敗
- ▶ 普通名詞と固有名詞の混乱

‘異常な’ 言語使用にも意味がある・・・

カナーは

「自閉症児の話すことばが意味不明の場合でも、
本人にとってはそのことばを覚えたときの
特定の事物や場面と結びついたことばなので、
聞き手が努力してその個人的な体験にたどりつ
けば、なぜそのことばがその場面で選ばれたの
か、わかる」と。

でたための言語ルールではない
伝達する他者を想定していない「非対人的」言語
本人の体験にはとても忠実な自己充足的ルール

自閉症研究の中での言語症状の位置づけ

初期 自閉症の一次障害としての言語障害
言語治療の導入

中期 言語の障害というより、意味処理の障害

近年 社会的障害に関心が集中
視線や表情など、ノンバーバルな側面の研究
がすすむ
前言語段階のコミュニケーション異常を早期
診断の手がかりとして早期から療育的介入を開
始する方向へ。

自閉症：
言語前の社会的コミュニケーション

1歳前後でみられるASDの兆候：
社会的コミュニケーションの土台が弱い

- 指さしや視線などのノンバーバルなコミュニケーションを
使わない (共同注意の行動がみられない)
- 他児(きょうだい以外)への関心が乏しい
- 名前を呼んでも振り向かない(返事はすることも)
- 人見知りがない

まるで母親である自分を
必要としないようだ

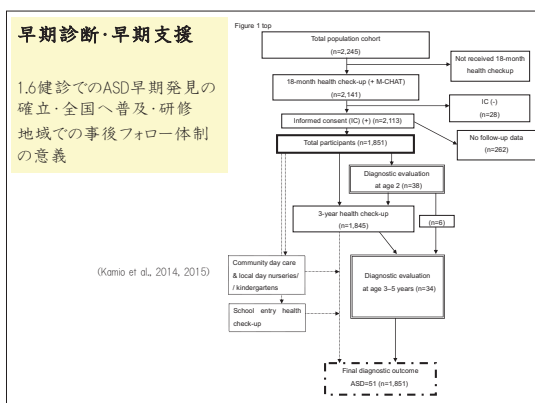
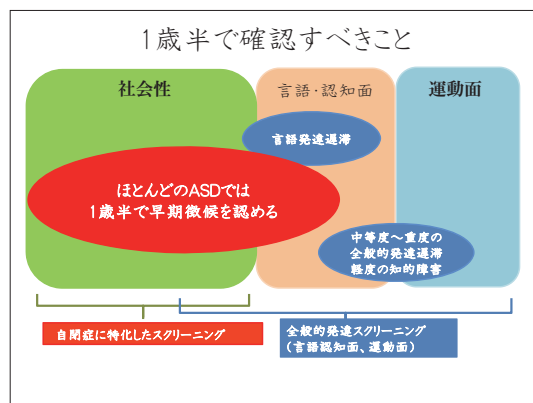
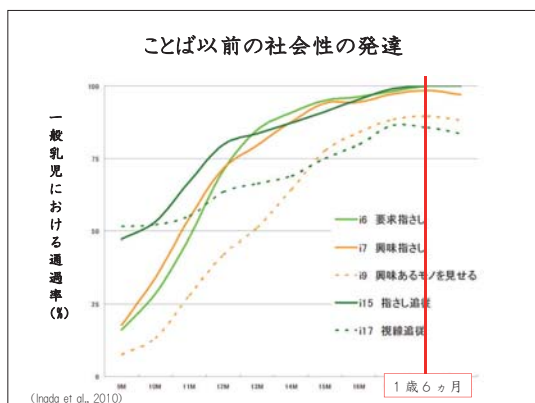


1歳半児の共同注意：興味の指さし



共同注意：興味の指さし
(何かに興味を持った時、指をさして伝えようとするか?)

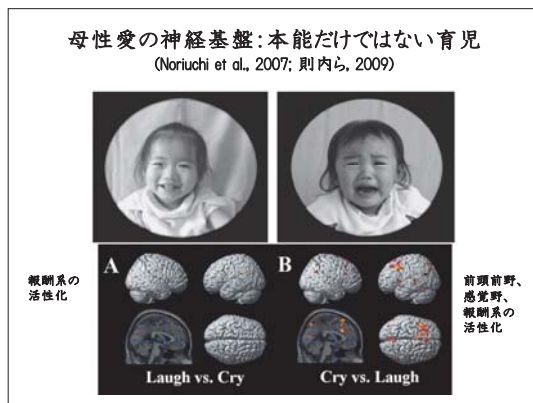
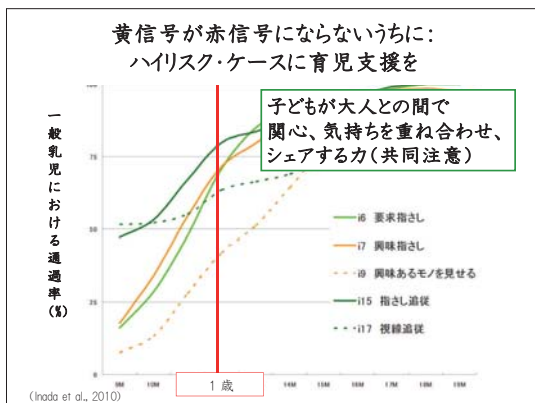




母子健康手帳

部屋の離れたところにあるおもちゃを指差すと、その方向をみますか。(指さしの追従)

平成24年春の母子健康手帳の改正：1歳の保護者記載欄の項目に追加されました。



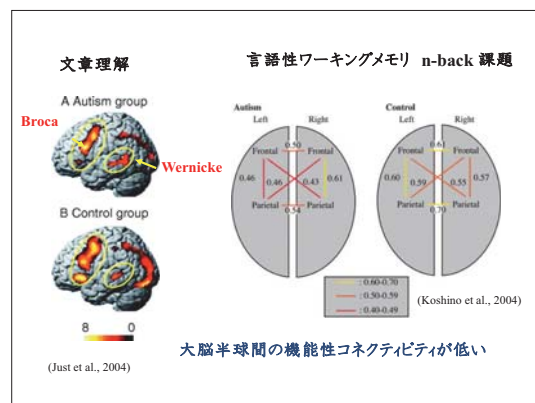
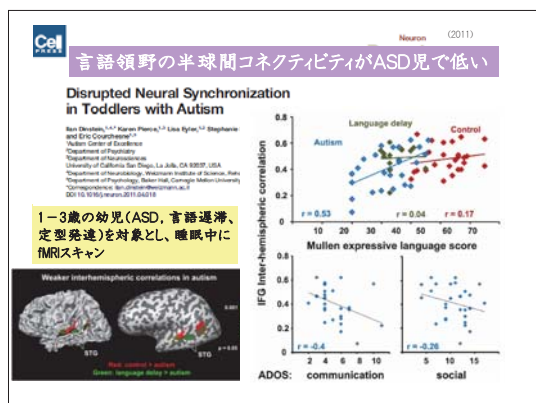
自閉症の言語的コミュニケーションの発達

言語能力を構成するさまざまな側面

話す内容に感情的色彩を加える機能→一本調子、不適切

- パラ言語的側面 プロソディ 抑揚・強勢・リズム
- 語用的側面 プラグマティクス 場面に即した言語使用
- 音響的側面 構音
- 意味的側面 語彙の意味と概念形成
- 文法的側面 文法

比喩、ユーモア、皮肉、行間の理解、暗黙の前提、省略など文脈に合わせた言語使用→自由会話では困難がはつきりする

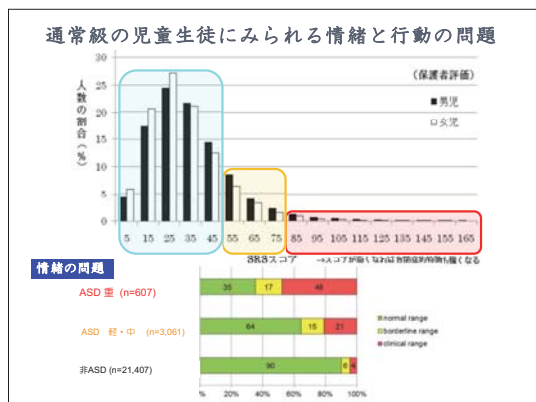
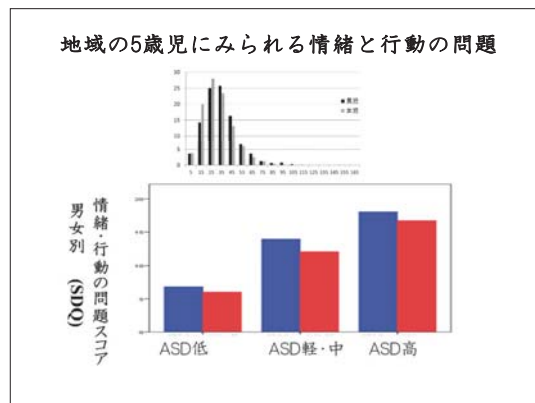
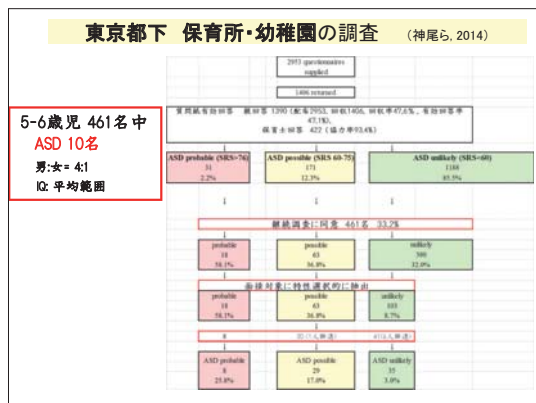
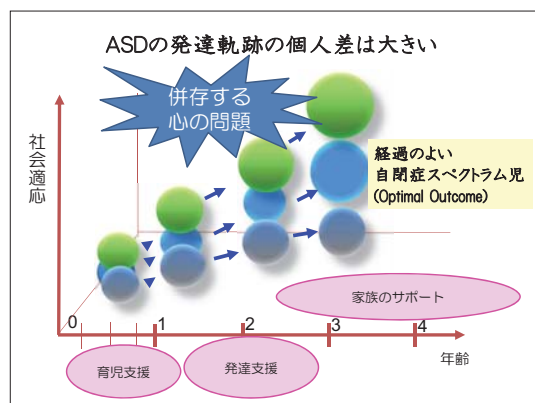


ASDの多くのケースは
就学前に診断・支援を受けていない

知能レベル 事象(平均年齢)	重度遅滞 グループ	中軽度遅滞 グループ	平均的知能 グループ
親の気づき	1歳11か月 N=173	2歳8か月 N=63	4歳4か月 N=108
専門家への相談	2歳8か月 N=169	5歳1か月 N=63	10歳2か月 N=98
診断	3歳6か月 N=161	6歳2か月 N=61	13歳3か月 N=83

談、受診までに時間がかかる

(男性80.0%;年齢16歳~49歳,平均30.3歳)



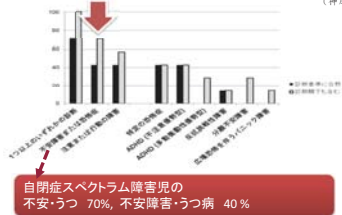
5歳児でみいだされた不安障害の頻度

	ASD (N=10)	Non-ASD 特性高 (N=27)	Non-ASD 特性低 (N=35)
男:女	8:2	17:10	17:18
IQ 平均 (SD)	97.4 (16.2)	97.1 (16.3)	118.2 (16.7)
K-SADS-PL			
パニック障害	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
分離不安障害	3 (30.0%)	1 (3.7%)	0 (0.0%)
社会恐怖	1 (10.0%)	4 (14.8%)	0 (0.0%)
特定の恐怖症	1 (10.0%)	1 (3.7%)	1 (2.9%)
全般性不安障害	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
強迫性障害	0 (0.0%)	1 (3.7%)	1 (2.9%)
いずれかの不安障害	4 (40.0%)*	3 (11.1%)	2 (5.7%)

*p<0.05



対象 東京都下 小学校通常学級
在籍児童 (6-12歳) n=775
(神原ら, 2011)



情緒の問題@5歳を予測する要因

Variable	N= 1390		
	オッズ比	95% CI	P
SDQ 情緒スコア ≥ 4			
性	1.69	1.13-2.54	.01
母親の教育	0.89	0.80-0.99	.03
ネガティブな情動 (Negative Affectivity 気質要因) Z score	1.81	1.46-2.25	< .001
自閉症的特性 SRS Z score	2.03	1.62-2.53	< .001

- ・ 自閉症的症状/特性、ネガティブな情動気質（感覚過敏特徴も含む）は、5歳での情緒の問題を予測する。

ASD児の不安症状:
どのように表現されるのか

- ✓感情の表出の困難

他者に伝えようとしない

他者に察知されにくい(表情表出乏しい)

- ### ✓言語表出の特異性

他者にわかりにくい

- ✓行動化する

衝動的、あるいは回避

あるいは執着する

対人コミュニケーションが難しい

場面に合わせて柔軟な対応が難しい
感覚過敏

不安・恐怖の対象は独特な場合も

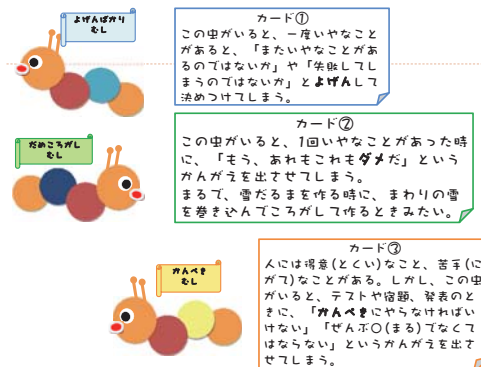
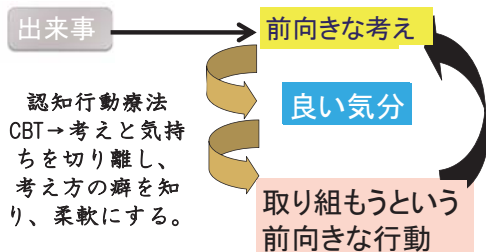
対人コミュニケーションが難しい

場面に合わせて柔軟な対応が難しい
感覚過敏

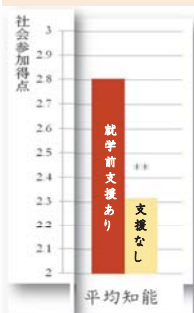
(例)

- ✓ 他者に触られることを嫌がる
- ✓ 赤ちゃんの泣き声を嫌がる
- ✓ 特定の言葉を嫌がる(NGワード)
- ✓ 他者のいるところを嫌がる
- ✓ 嫌な出来事や関連した場所や数字など恐怖対象が拡大する
- ✓ 強迫的儀式が実施できない場面
- ✓ なくなること、見えないことになることへの不安

不安が自動化し、
行動パターンが固定化しやすい
(乗り越えにくい)

[illegible]

自閉症スペクトラム児の成人後のQOLを高め、社会参加を改善する要因



- 環境側の保護要因
早期診断・早期支援
- リスク要因
合併精神障害(予防できる！)
攻撃的行動(予防できる！)
女性(早期の気づき)

(Kamio et al., 2013)

早期発見のメリット

- 支援を早く受けることができる。支援開始年齢は療育効果に影響あり。

早期からの支援は、

- 発達の促進、二次障害の予防に役立つ。
- 長期的に社会参加やQOLを改善する。
- 本人および周囲の理解(長所と短所)に役立つ。
- 家族の心理的負担減と精神的健康の向上。

- 支援の方法はひとつではない。ニーズの個人差。
- 支援は、継続することが大事。

本日のまとめ

- 自閉症の早期の気づきとニーズに応じた支援は、本人と家族、そして社会にとっても大事。
- 発達の道すじは個人の特性と環境の影響によってさまざま。良くも悪くもなる。
- 支援は画一的ではなく、個別のニーズを評価したうえで何が必要か、多職種チームで協力して行う。
- 支援する側は、自身のコミュニケーションを相手の立場に立って時に点検してみよう。



謝辞

全国の多数のお子様とご家族、教育、福祉、医療の関係者各位に心から感謝いたします。

ご清聴、ありがとうございました

研究にご関心のある方

児童・思春期精神保健研究部

Department of Child and Adolescent Mental Health

<http://www.ncnp.go.jp/nimh/jidou/index.html>